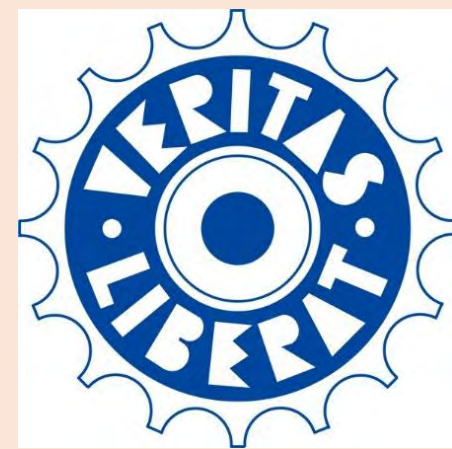


# 文化財保存・継承と観光活用プロジェクト

## ～戦後80年に向けたピースツーリズム～



別府大学 国際経営学部国際経営学科 講師：小野貴史

学生：為成俊介 江藤己畝 木田萌子 赤嶺和博 安東辰哲 白田未来人 熊本竜弥 佐藤良憲

中嶋健太 永見星直 本多隼人 本城ありさ 森山伶実 湯浅 樹 宮川貴成

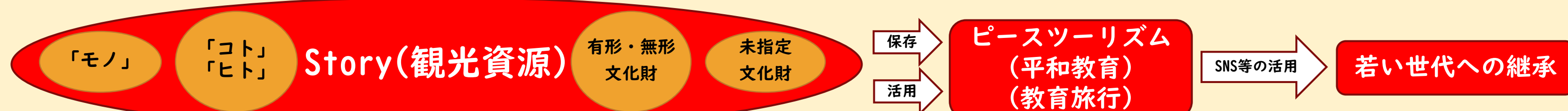
ウツラー・チャラロチャニ チェータナー・ディウヤンジリ プラモディ・チャメンドウ

### 1. 事業目的と課題

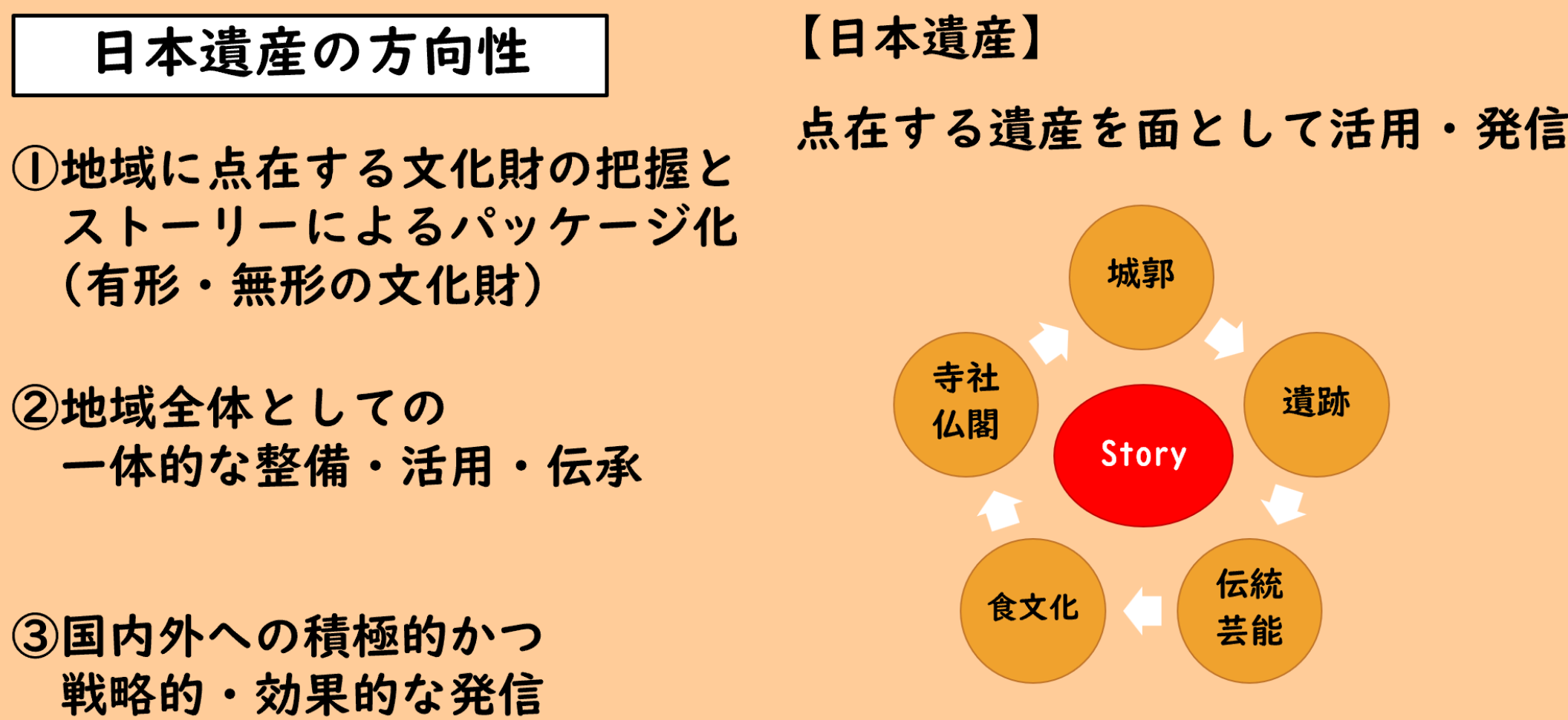
平成31年4月に施行された「改正文化財保護法」に規定された文化財の保存・活用に関する総合的な法定計画である文化財保存活用地域計画により、各自治体は既存の指定文化財だけではなく未指定文化財の調査など、幅広く文化財の積極的な保存と観光への活用が課題となっている。そのため、文化財の保存・活用に対する地域住民の関心や理解の促進、さらに地域のアイデンティティの再認識が期待されている。

文化庁が認定している「日本遺産」の要素を取り入れ、このプロジェクトを実施。「日本遺産」は、情報発信や人材育成・伝承・環境整備などの取り組みを、効果的に進め、点在する遺産を面としてとらえ、ストーリーとして「有形・無形」の文化財をパッケージ化し、活用と発信につなげる。右図のようなシリアル型は、自治体の枠を超えて地域（このプロジェクトでは大分県内）に点在している、特色ある文化財を、ストーリーという面でもとらえることにより、地域の誇りやアイデンティティ形成につながる。

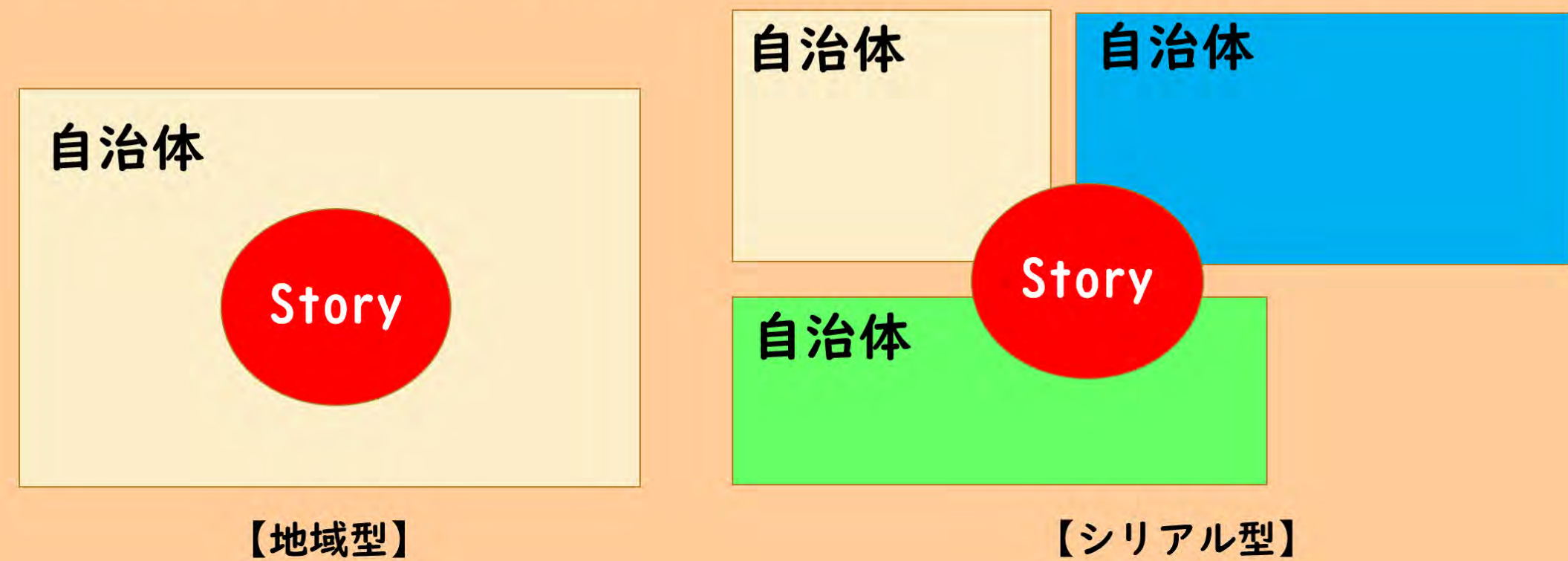
「日本遺産」のストーリーを活かしたうえで、戦後80年を迎えるにあたり、太平洋戦争開戦から終戦および降伏文書調印に関して、大分県内の「モノ」や「コト」「ヒト」を中心に「展開するストーリー」があると認識。それらに関わる「有形・無形、未指定」の文化財を観光資源として活かせる土台づくりを目的としている。



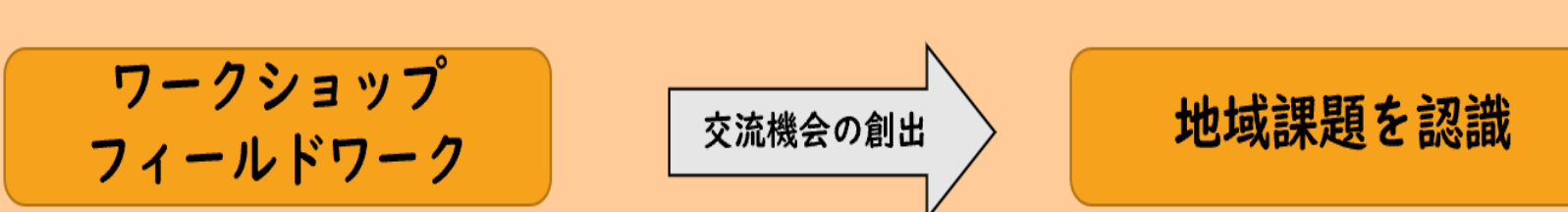
### ストーリー性がある「日本遺産」の要素が必要



### 【単一の市町村でストーリーが完結】 【複数の市町村にまたがってストーリーが展開】



### 2. 学生の地域課題認識の場面



### 3. 活動スケジュールの概略、課題解決方法

活動スケジュール：2024年6月～2025年1月

①ワークショップ	豊の国宇佐市塾や豊州戦史研究会などによる基礎講座
②グループワーク	グループ分け、担当エリアを中心に事前学習を実施
③フィールドワーク	各地域の平和関連施設や戦争遺構の確認などを中心とした現地実習を実施
④ワークショップ	中間発表
⑤発表会	連携団体との発表会を実施
⑥フィードバック	発表内容と今後に向けた継続的な取り組みを検討

課題解決方法：SNSやアプリ「SASSY」を活用して相乗効果を生み出す

■ピースツーリズムとは  
広島市は、国内外の来訪者と市民が平和への思いを共有するものと意味合いを含め、「ピースツーリズム」という、平和を意味する英単語を使った言葉を作りました。これは、市内にある主要な平和関連施設などを巡ること、平和とは何かを考え、思いを巡らせ、世界の人がその思いを共有することが目的としています。

■平和について考える  
広島市内には、原爆ドームや平和記念公園をはじめ、市内各地には数多くの被爆の痕跡や復興の証が残っており、その一つ一つに物語があります。それらに触れることで、市民も来訪者も一緒になって、平和な世界に向けて自分たちに何ができるかを考えるきっかけとなって欲しい、ピースツーリズムにはそういった思いが込められています。

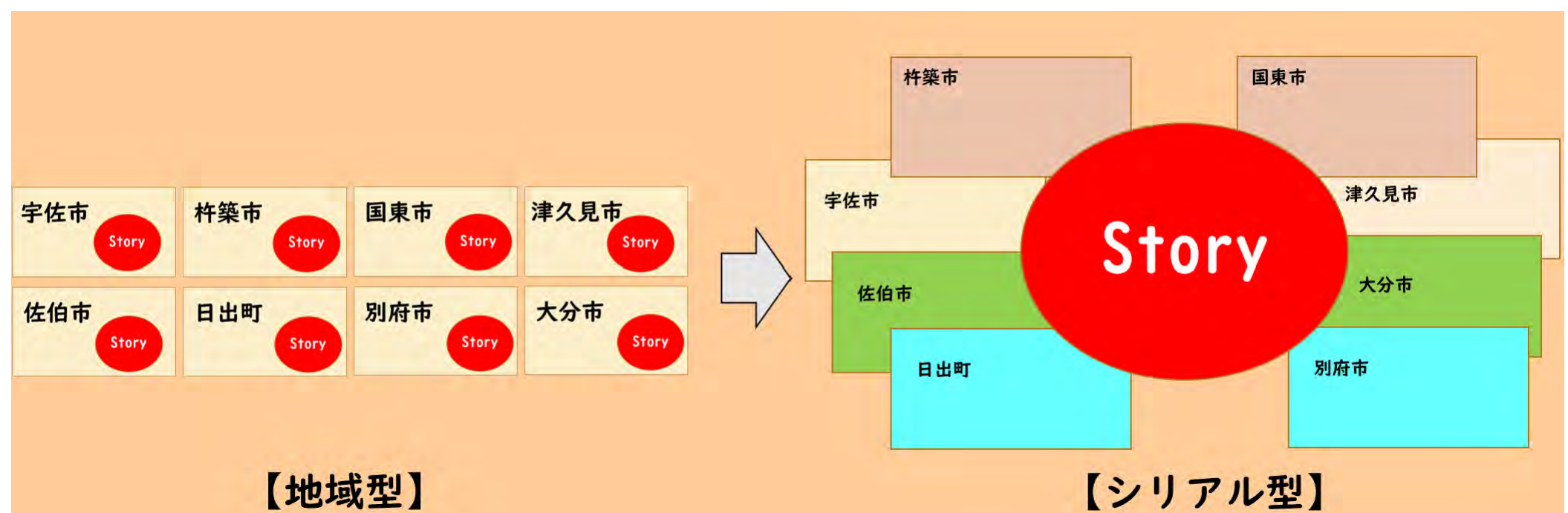
出所：広島市公式ホームページ「ピースツーリズム」 2019年10月21日更新

### 4. フィールドワーク実施内容

- ①7月13日(土)：宇佐市  
・市内の戦争関連遺跡や資料館などで、豊の国宇佐市塾の安田氏による平和ガイドを実施  
・案内中での質疑応答を実施  
・フィールドワーク後に感想などのアンケートを実施し、まとめて対象者へ送付。  
・アプリ「SASSY」しおり機能の入力作業
- ②10月12日(土)：杵築市・国東市  
・重光邸(杵築市観光協会ガイド)、重光英資料館(国東市教育委員会)スタッフによる説明案内  
・案内中での質疑応答を実施  
・フィールドワーク後に感想などのアンケートを実施し、まとめて対象者へ送付。  
・アプリ「SASSY」しおり機能の入力作業
- ③11月27日(水)：津久見市・佐伯市  
・津久見市教育委員会生涯学習課文化財専門員の山下氏による説明案内  
・保戸島小中学校の教員により案内  
・佐伯市平和祈念館やわらじ職員の高畑氏による説明案内  
・案内中での質疑応答を実施  
・フィールドワーク後に感想などのアンケートを実施し、まとめて対象者へ送付。  
・アプリ「SASSY」しおり機能の入力作業
- ④12月8日(土)：日出町・別府市・大分市  
・豊州戦史研究会の野崎氏による説明案内  
・「友情の家」重光氏による説明案内  
・案内中での質疑応答を実施  
・フィールドワーク後に感想などのアンケートを実施し、まとめて対象者へ送付。  
・アプリ「SASSY」しおり機能の入力作業

### まとめと今後の課題

◎【地域型】でまとめたものを、今後は大分県内全体のストーリーとしてとらえることにより、【シリアル】型の「ピースツーリズム」のストーリーとなる。大分県において、太平洋戦争開戦から戦後の降伏文書調印に関して、「モノ」「ヒト」「コト」で後世に継承すべきストーリーであり、全国的にみても重要なピースツーリズムとなる。また、観光や平和教育としての活用を期待。



◎アプリ「SASSY」しおり機能は、入力することでモデルコースとしても活用でき、施設ごとの紹介に加え、行程をマップにすることも可能。

◎「ピースツーリズム」に限定した観光資源を巡るだけではなく、周辺グルメスポットやカフェ、地域の方々との連携や協力により、文化財の保存・活用に対して、地域住民の関心や理解の促進、さらに地域住民のアイデンティティの再認識が必要。

※画像提供：小野貴史